

第二次船橋市図書館サービス推進計画報告書 (令和4年度) (案)

令和5年7月

船橋市教育委員会
生涯学習部西図書館

目次

1	第二次船橋市図書館サービス推進計画の概要.....	1
(1)	計画の趣旨.....	1
(2)	船橋市図書館の目指すべき図書館像（グランドビジョン）と目標.....	1
(3)	施策体系.....	2
(4)	計画の期間.....	3
2	第二次船橋市図書館サービス推進計画の評価基準について.....	3
(1)	「評価」	3
3	令和4年度評価について.....	4
(1)	総合評価.....	4
(2)	結果.....	4

1 第二次船橋市図書館サービス推進計画の概要

(1) 計画の趣旨

本市においては市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に応える図書館を目指し、平成25年1月に「船橋市図書館サービス推進計画」（以下「旧計画」）を策定し、図書館サービス体制の整備、開館日、開館時間の拡充、図書館サービスネットワークの拡充等を図るために様々な取組を進めてきました。平成29年度には4図書館のうち中央・東・北の3図書館に指定管理者制度を導入し、図書館サービスの向上を図ってきたところですが、地域の情報拠点として更なる強化を行うため、目指すべき図書館像を設定するとともに、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（文部科学省告示）で求められている基本的運営方針を定めた「第二次船橋市図書館サービス推進計画（以下「本計画」）」を令和4年3月に策定しました。

(2) 船橋市図書館の目指すべき図書館像（グランドビジョン）と目標

船橋市図書館の目指すべき図書館像（グランドビジョン）を以下のとおり定めました。

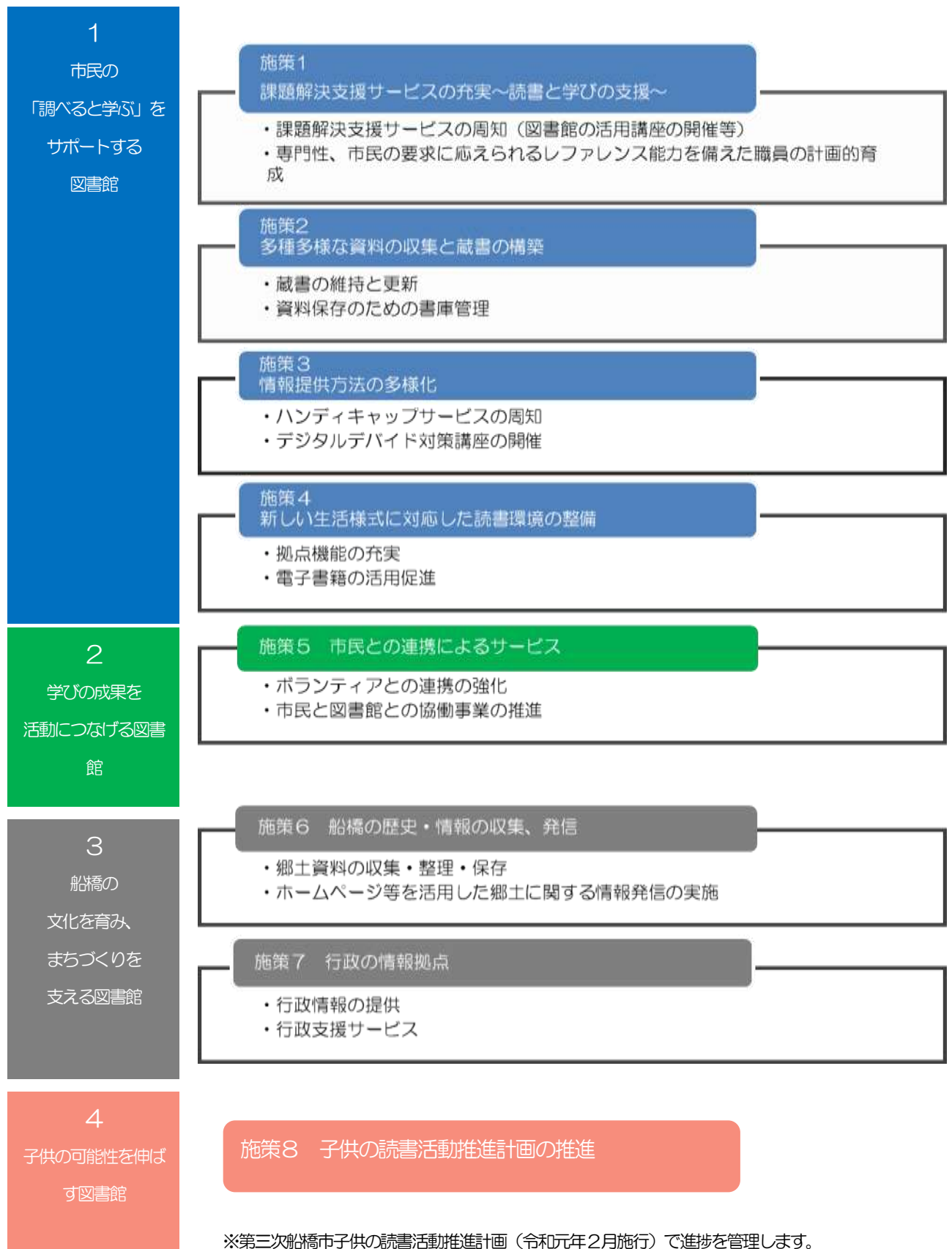
『市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に応える地域の情報拠点』

また、グランドビジョンを達成するための目標を以下のとおり定めました。

<目標>

- ① 1年に1回以上図書館・公民館図書室等を利用した人の割合の上昇（基準値 令和元年度調査 34.5%）
- ② 図書館サービス（全体）の利用者満足度（4図書館計）の上昇（基準値 令和元年度調査 82.3%）

(3) 施策体系 基本的運営方針



※第三次船橋市子供の読書活動推進計画（令和元年2月施行）で進捗を管理します。

(4) 計画の期間

第二次計画の期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間です。

ただし、計画期間の概ね中間年である5年目には、中間評価を行い内容の見直しを行います。

2 第二次船橋市図書館サービス推進計画の評価基準について

「第二次船橋市図書館サービス推進計画」第4章アクションプランに沿って、実施する取組内容と、成果指標等の達成度に基づき、船橋市図書館サービスについて毎年度評価を行います。

(1) 「評価」

8つの施策について、施策を達成するための具体的な取組内容と指標の達成度を総合して下記のとおりS～Cの4段階の評価を行います。

C評価となった施策については、原因の分析とともに取組内容、成果指標等の見直しを適宜行っていきます。

実施内容	評価
十分達成できた（取組を実施し、目標を上回る成果があった） または 数値成果指標においては成果指標（基準値）以上	S
概ね達成できた（取組を実施し、一定の成果をあげた） または 数値成果指標においては成果指標（基準値）の80%以上 100%未満	A
あまり達成できていない（実施したが、十分な成果をあげることができなかった）または 数値成果指標においては成果指標（基準値）の60%以上 80%未満	B
達成できていない（実施できず課題の整理、取組内容の見直しが必要） または 数値成果指標においては成果指標（基準値）の60%未満	C

※基準値は令和3年度の実績値

3 令和4年度評価について

(1) 総合評価

施策1～7のうち、2つがS評価、4つがA評価、1つがB評価となっており、概ね計画目標を達成できたと評価ができます。B評価となったのは、基本的運営方針1「市民の「調べると学ぶ」をサポートする図書館」の施策4「新しい生活様式に対応した読書環境の整備」です。この取組のうち、電子書籍サービスの貸出点数が基準値を達成できずBとなりました。

なお、基本的運営方針4「子供の可能性を伸ばす図書館」の施策8「子供の読書活動推進計画の推進」については「第三次船橋市子供の読書活動推進計画」にて評価を行います。

(2) 結果

【基本的運営方針1】 市民の「調べると学ぶ」をサポートする図書館

<施策1 課題解決支援サービスの充実～読書と学びの支援～>

取組	成果指標	基準値 (R3)	実績 (R4)	評価
課題解決支援サービスの周知（図書館の活用講座の開催等）	課題解決支援講座参加者のアンケートによる受講満足度の割合	828%	84.7%	A
専門性、市民の要求に応えられるレファレンス能力を備えた職員の計画的育成	レファレンス（調査相談）件数	38,113件	22,742件	
	図書館サービスに関する研修の年間参加のべ人数	260人	296人	

実施内容と課題・方向性

「課題解決支援サービスの周知」については、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、図書館活用講座等、課題解決支援講座を予定どおり実施することができ、参加者アンケートの受講満足度の割合も指標を上回っています。

「専門性、市民の要求に応えられるレファレンス能力を備えた職員の計画的育成」については、レファレンス件数は、前年度まで、館内利用案内数も含めていましたが、令和4年度から除外したため件数の低下がみられます。また図書館サービスに関する研修の年間参加のべ人数は、西図書館館内研修、千葉県公共図書館協会第二ブロック研修（船橋市主催）を開催し指標を上回っています。講座満足度、研修参加人数の増加により評価をAとしました。引き続き課題解決支援講座の開催と、研修による職員のスキルアップに努めていきます。

＜施策2 多種多様な資料の収集と蔵書の構築＞

取組	成果指標	基準値 (R3)	実績 (R4)	評価
蔵書の維持と更新	開架に占める新規図書比（寄贈資料含む） （受入れ点数/開架資料点数【図書館、公民館図書室等の総数】）	78%	75%	A
資料保存のための書庫管理				

実施内容と課題・方向性

「蔵書の維持と更新」、「資料保存のための書庫管理」については、各館の状況を確認しながら発注および除籍、書庫編入等、資料の管理に努めました。開架に占める新規図書比は、指標値の9割を維持しています。更に共同書庫の課題を整理し、保存環境の向上について検討したため、評価をAとしました。

今後も、4図書館で連携しながら市内全体のバランスを考慮した蔵書構築及び維持管理を行っていきます。

＜施策3 情報提供方法の多様化＞

取組	成果指標	基準値 (R3)	実績 (R4)	評価
ハンディキャップサービスの周知	ハンディキャップサービス関連講座実施回数	年4回	3回	A
デジタルデバйд対策講座の実施	デジタルデバйд講座実施回数	年4回	6回	

実施内容と課題・方向性

「ハンディキャップサービスの周知」については、バリアフリー映画会の実施及び会場でのハンディキャップサービス周知チラシの配布を行いました。

「デジタルデバйд対策講座の実施」については、シニア向けIT講座及びデータベース活用講座を開催しました。

今後は、新たなハンディキャップサービス関連講座も検討していきます。

＜施策4 新しい生活様式に対応した読書環境の整備＞

取組	成果指標	基準値 (R3)	実績 (R4)	評価
拠点機能の充実	—	—	—	B
電子書籍の活用促進	電子書籍サービスの貸出点数	17,000点	12,172点	

実施内容と課題・方向性

令和5年4月現在、船橋市は4図書館と、分館的機能を持つ19か所の公民館図書室等がオンラインによりネットワーク化しているほか、移動図書館車により、35か所のステーションの巡回を行っています。「拠点機能の充実」については、それらの拠点のうち令和4年度は、特に飯山満公民館図書室の蔵書を整備しました。

「電子書籍の活用促進」については、図書館活用講座及びシニア向けIT講座にて利用方法の解説を行いました。電子書籍サービス上でも特集展示を行い、貸出促進に努めましたが、貸出点数は指標の71.6%に落ち込みました。新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、外出機会が増えたことによる影響も考えられますが、引き続き利用促進に努めていきます。

【基本的運営方針2】 学びの成果を活動につなげる図書館

＜施策5 市民との連携によるサービス＞

取組	成果指標	基準値 (R3)	実績 (R4)	評価
ボランティアとの連携の強化	読み聞かせボランティア入門講座受講者の活動実績	9人	13人	S
	読み聞かせボランティア入門講座受講者数	7人	45人	
市民と図書館との協働事業の推進	図書館と市民の連携事業数	年12回	14回	

実施内容と課題・方向性

「ボランティアとの連携の強化」については、読み聞かせボランティア入門講座、読書ボランティア向け講座を4図書館で開催しました。活動実績、受講者数ともに指標を上回っています。

「市民と図書館との協働事業の推進」については、アースドクターふなばしや、ふなばし街歩きネットワークマイスターと連携した講座などを実施し、実績値は指標を上回っています。

今後は地域のボランティアとの新たな連携事業についても検討していきます。

【基本的運営方針3】 船橋の文化を育み、まちづくりを支える図書館

＜施策6 船橋の歴史・情報の収集、発信＞

取組	成果指標	基準値 (R3)	実績 (R4)	評価
郷土資料の収集・整理・保存	郷土資料の蔵書数前年度比増	89,479点 (4図書館計・貴重資料含む)	91,441点 (前年比102%)	A
ホームページ等を活用した郷土に関する情報発信の実施	図書館ホームページ（郷土資料室）更新等の情報発信回数	年10回	図書館HP更新 12回	

実施内容と課題・方向性

「郷土資料の収集・整理・保存」については、町会・自治会への自治会資料等の寄贈依頼および庁内への行政資料の送付依頼を行いました。

「ホームページ等を活用した郷土に関する情報発信の実施」については、図書館ホームページ（郷土資料室）で歴史放談の新コラムを公開し、コラム数は31となりました。

資料収集を継続するとともに、今後は展示などのホームページ以外の情報発信にも力を入れていきます。

<施策7 行政の情報拠点>

取組	成果指標	基準値 (R3)	実績 (R4)	評価
行政情報の提供	行政各部署との連携事業実施回数	年12回	22回	S
行政支援サービス	—	—	—	

実施内容と課題・方向性

「行政情報の提供」については、中央図書館のメインホールにて行政各部署との連携事業として展示を継続的に行いました。また、いなばし三番瀬環境学習館と連携し、西図書館でのギャラリー展示・講座に加え、体験講座を西図書館、北図書館で実施しました。

「行政支援サービス」については、令和4年度から本格的に開始し、行政各部署に対して庁内掲示板を活用し周知を行いました（調査相談件数は6件、貸出の資料数は96冊）。今後も行政支援サービスの周知を行い、行政各部署の調査相談に対応していきます。